



地域支援部だより

〒781-0010 高知県四万十市古津賀 3091
高知県立中村特別支援学校 地域支援部
TEL0880-34-1511 Fax0880-34-1625



R4. 第3号

雨の日が多い季節になりました。じめじめとうっすい季節ではありますが、傘をさすのが楽しい、レインコートを着るのが楽しい、長靴をはくのが楽しい、雨上がりの虹、アジサイの花など、子どもたちにとってはこの時期ならではの楽しむ要素や発見がある季節ですね。

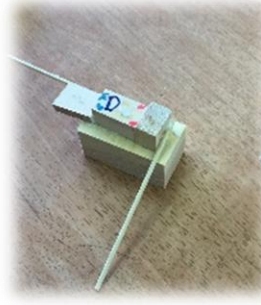


中学部体験入学

6月7日（火）に本校中学部にて体験入学があり、3名の児童の参加がありました。四万十市で新型コロナウイルス感染症の陽性者が多く出ている状況もあり、体験生は別教室にてオンラインでの授業参加となりました。対面での在校生との交流ができず、少し残念だったとは思いますが、本校の授業を楽しむことができたでしょうか？



今年度は美術の授業でした。いろいろな材料を使用してオリジナルフィギュアの制作をしました。



※小学部は随時、個別で体験入学を行っております。ご希望がありましたら、ご連絡ください。



「忘れる」ってよくないこと？

「僕はすぐに忘れて、覚えることが苦手」と、少し悲しそうに話してくれる子どもがいます。「忘れる=よくないこと」という捉え方をしているのではないのでしょうか。このような子どもたちに会うと、いつも昔読んだ五木寛之さんの「生きるヒント」という本を思い出します。それは、「許す」というテーマで書かれた内容でした。

その中では「許せないことを許せというわけではありません。そもそも許すことは本来、人間の仕事ではないのではないのでしょうか。許すということはどこか傲慢な感じがする・・・（中略）・・・だったらどうするか。「忘れる」しかないじゃないか、というのがぼくのいまの考えです。忘れることができなければ、せめて笑うしかない。それも無理なら悲しめばよい。」と。

忘れることを少し悲しそうに話す子どもの「忘れる」と、この本での「忘れる」は少し違う意味合いがあるかもしれませんが、生きていくうえで「忘れる」という能力はとても大切なことなのだと思います。「忘れる」というのは人に与えられた必要な能力なのだと。「忘れる=よくないこと」と落ち込むことなく、忘れたときにはどうすればいいのか、忘れないようにする方法は、どんな方法が覚えやすいかなど、子どもたち一人ひとりの特性に合った学習スタイルと一緒に考えていけたらと思います。子どもたちには、「忘れても大丈夫」「こうすれば覚えやすい」など前向きな気持ちで学習に取り組めるようになってもらいたいですね。